■ コンプライアンス・ポリシー

1. コンプライアンス・ファースト

コンプライアンスは「誰かがやってくれる」ものではなく、役職員一人ひとりが日々実践するものであり、全ての役職員が行動する際の拠り所になるものです。会社にとって、コンプライアンスは社会に存在するための基盤であり、会社を守り、役職員皆さん自身のことを守るものでもあります。そして、その基盤の上に業務・業績があります。

2. 当社における「コンプライアンス」の定義

当社では、「コンプライアンス」を次のように定義します。

「法令・社内ルールを遵守し、その時々における社会規範や社会・顧客からの期待に応える、考え・行動」

3. 7つのコンプライアンス・ポリシー

コンプライアンスを実践するための羅針盤として、次の7項目のポリシーを設けています。

①各種業法・法令の遵守	⑤贈収賄・腐敗行為防止
②誠実な行動	⑥人権の尊重、差別・ハラスメントの防止
③情報の適正な管理・使用	⑦反社会的勢力との関係遮断、資金洗浄・テロ資金供与防止対策
④公正な業務運営	

4. コンプライアンス・ポリシーとその説明

① 各種業法・法令の遵守

- 自らの担当業務に適用のある法令等を理解し、遵守します。

② 誠実な行動

- その時々で変化する社会規範・社会からの期待を常に考え、それらに充分に応える行動をします。
- SMFLの役職員として品位を保ち、マナーを守って行動します。

③ 情報の適正な管理・使用

- 自らの担当業務に関して知り得たあらゆる情報、会社が保有する情報を適切に管理・使用します。
- 第三者の知的財産権・営業秘密等についても、適切に取り扱います。

④ 公正な業務運営

- 業務の遂行においては社内ルールを遵守し、業務に関する事実・情報を正確に報告・記録し、隠ぺいや改ざんを行いません。
- 不芳な事態が判明、発生した場合には、速やかに適切な報告、対応をします。
- 自らとは直接関係なくても、不芳な事態に気付いたり発見したら、それを見過ごしませぬ。改善のために直ちに声を上げます。

⑤ 贈収賄・腐敗行為防止

- 贈収賄の禁止に関する法規制を遵守し、社会の疑惑や不信を招く行為をしません。
- 社会的常識や商習慣から逸脱した接待贈答の授受をしません。
- 会社の役職員としての立場・権限を利用したり、会社の財産や利益を犠牲にして自己または第三者の利益を図ることをしません。

⑥ 人権の尊重、差別・ハラスメントの防止

- 会社の内外を問わず全ての人を尊重し、差別、嫌がらせ、ハラスメントをしません。

⑦ 反社会的勢力との関係遮断、資金洗浄・テロ資金供与防止対策

- 反社会的勢力に対しては毅然とした態度を貫き、取引の未然防止・関係遮断に努めます。
- 資金洗浄・テロ資金供与防止対策(AML*1/CFT*2)について、法令や当局のガイドラインに沿った対策・対応を行い、AML/CFTを強化・継続します。

*1 AML:Anti-Money Laundering

*2 CFT:Combating the Financing of Terrorism